



平成 30 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 国際計測器株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 博司
(J A S D A Q ・ コード 7722)
問合せ先 取締役管理本部長 松本 進一
電話番号 042-371-4211

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 31 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 31 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,000	百万円 400	百万円 400	百万円 240	円銭 17.12
今回発表予想 (B)	4,196	△187	△60	△118	△8.42
増減額 (B) - (A)	△803	△587	△460	△358	
増減率 (%)	△16.1	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	5,085	591	576	369	26.38

2. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

売上高につきましては、バランスिंगマシンやシャフト歪自動矯正機において客先への出荷・検収が客先都合による納期変更などにより第2四半期から第3四半期にずれ込んだ案件が多数発生したため、当初の予想に対し減収となる見込みです。

利益面につきましては、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が、円安ドル高に推移したため為替差益が発生したものの、減収による減益の影響や、役員報酬改定による増額や役員賞与支給により販管費が増加したことなどにより、当初の予想を下回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、粗利率の高い案件が第3四半期以降に集中していることや受注状況が好調であるものの、今後の外部要因等に伴う不確定要素があるため、現時点では前回の予想を据え置いております。今後修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

また、配当予想の修正はございません。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上